

お金をかけずに
改革断行!

晩夏号

村木 むらき
ひでゆき



発行：村木ひでゆき後援会 〒197-0801 あきる野市菅生1456

財源の根拠がない公約は空約束です！

市 議会議員選挙でも各候補が市民の切実な要望等を公約に掲げ、市民に支持を訴えました。しかし、その公約を実現するための財源について説明している候補者は少数でした。財源の保証がない選挙公約は、空約束になりかねません。

お金が潤沢にあれば、多くの市民要望が実現されますが、ご存じのようにあきる野市の財政事情は引き続き厳しい状況が続いています。私は、新型コロナウイルス感染による地域経済への影響、

急激な物価の中、市民に出来るだけ負担をお願いしないで市民サービスを充実させるための努力を行っています。

まず自らが率先して出来る市長公用車の廃止と市長退職金の辞退を行いました。同時に区画整理事業の全面見直しと契約変更を行い、2億2千万円の負担軽減、東京都の補助金活用でエアコン設置を行いました。今度は、新たな財源確保策として、御堂中西側市有地の活用と環境整備、福祉人材確保の施策を推進します。

市民に負担をお願いしないで 知恵と工夫で市民要望の実現！

1 村木ひでゆきは 身を切る改革を行いました

▶市民に負担をお願いするより前に、市長自らが身を切る改革をするのが、市政運営の常道です。

市長退職金は1期ごとに約1300万円以上支払われますが、市内の中小企業の従業員が定年まで働いてもこれだけの額を得られる人は少ないでしょう。市民感覚的にも納得できない市民は多く存在します。市長専用車も廃止し、市役所には自家用車で登庁、移動は秘書課か担当課の車で。対立候補は、市長退職金や市長専用車についてどうするのでしょうか？

2 村木ひでゆきは 計画の見直しと工夫を行いました

▶苦しい事情の中、市民の貴重な税金がすぎ込まれる武蔵引田土地区画整理事業も議会の妨害に屈せず、事業の全面見直しと契約変更で2億2千万円の負担金を減らすことができました。計画の見直しや検討も行わず、手をこまねいていたらこの金額は生み出せません。子供たちや保護者の長年の要望だった、小・中学校体育館と児童館の体育室のエアコン設置も、東京都の補助金を活用して設置しました。予算がないとの理由で切実な要望に耳を貸さなかった市政を知恵と工夫で転換させました。

また、小学校に入学して初めて和便器を使うことの問題点を解消するため、トイレの洋式化も進めています。

3 村木ひでゆきは 新たな財源確保に挑戦します

▶身を切る改革、節約と工夫だけでは、市民要望を実現するための財源としては不十分です。地域振興や企業誘致（自動車教習所の誘致）の活動と共に、市有地の有効活用も行っていきますが、その一つが、30数年間も放置されたままになっていた御堂中学校西側の残土置き場に特別養護老人ホームを誘致し、あきる野市の税金を一切使わずに、地域環境の改善と約5億円の税収確保をする計画です。

同時に、この収入を使い、介護人材育成の学校を誘致し、都の奨学金制度に市の奨学金を上乗せし、卒業したら5年間市内の高齢者福祉施設等で働いていただく制度を作ります。

村木は、**議会の妨害に屈せず** 改革を始めました。

さらに**一步前に進めます!**

変わり始めたあきる野市

前回の市長選挙で、この街は変わらないとあきらめないでください。村木と一緒に、こんな街づくりをしませんかと訴えさせていただき、その実現に向けた努力を行っています。まだ道半ばですが、すでに、区画整理事業の見直し、小・中学校体育館・児童館の体育室へのエアコン設置、学童クラブの増設、保育の給食費補助の増額、がん検診の個人負担軽減、65歳以上のPCR検査キット無料化、市長公用車・退職金辞退、介護人材確保と定着のための資格取得等に一部補助、るのバスの実証実験開始などを実現しました。まだまだ多くの課題が山積んでいますので、引き続き実現に向けた挑戦を続けます。



Muraki Hideyuki Profile

村木ひでゆき 略歴 プロフィール

前 あきる野市長（第1期）
特別養護老人ホームほたるの郷・第二ほたるの郷
デイサービスセンターこいかわの郷 前理事長

- 昭和32年 元秋多町（旧秋川市の前身）町長 村木光三の長男として菅生にて生まれる。
 - 多西小・秋多中・日野高校、慶応義塾大学卒業。
 - 住宅会社 ミサワホーム、スーパーマーケット いなげや勤務、予備校講師。
 - 昭和62～平成9年 秋川・あきる野市議会議員
 - 平成17年～令和元年まであきる野市議会議員
 - 平成12年 社会福祉法人菅生会 創設
 - 平成13年 特別養護老人ホーム ほたるの郷 開設
 - 平成24年 特別養護老人ホーム 第二ほたるの郷 デイサービスセンター こいかわの郷 開設
 - 令和元年～ あきる野市長
- ◎趣味・特技/将棋、柔道（三段）

<https://www.muraki-hideyuki.com/>

御堂中西側市有地に 特養誘致で約5億円

貧しいあきる野にとっては
喉から手が出るような財源だね!

自治会・町内会 への市の支援拡大

公報でも地域組織の大切さを
宣伝してほしいね!

ひとり親世帯の 生活資金貸付制度

無利子で借りられれば助かるね!

高校生までの 医療費の無償化

都が来年度から始める無償化に
市の自主財源をプラスし、
26年度以降も続けてほしいね!



農

林水産業の振興や医療の充実、子育て支援、労働力人口の流入策など、あきる野市が抱える課題解決に向け、市民の皆さんの知識や知恵をお借りしながら、更に一步前に施策を進めていきます。

あきる野市は可能性の宝庫 そして、改革はまだ始まったばかりです!



自動車教習所の誘致

これで高齢者講習の不便や
不満が解消されるね



保育の給食費 補助の増額

材料費高騰の影響が
子どもたちにしわ寄せ去らない
ようにしてほしいね!



赤ちゃんおむつ 定期便制度

子育て相談、見守りとおむつの
無料配達できめ細かな子育て支援



高齢者介護施設に 働く人材確保

介護人材育成学校を誘致し、
福祉の充実施策に弾みを!



それは村木に
お願いしましょー!

▶ 市政への要望・ご意見などお寄せください。 FAX. 042-559-2353 E-mail muraki.hideyuki1456@gmail.com